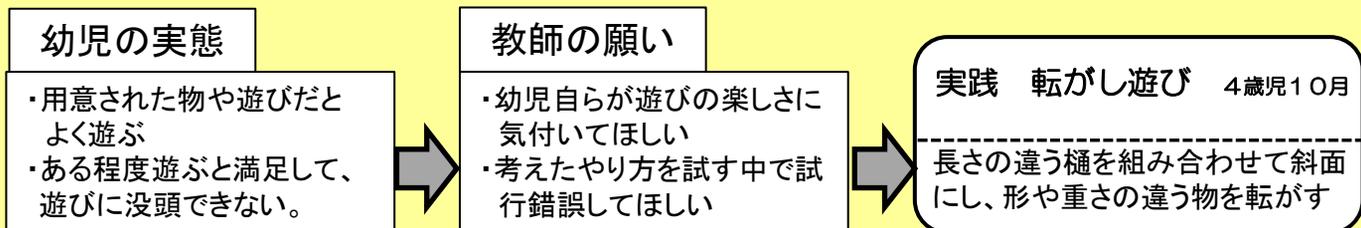


好奇心を持って遊びに関わる幼児の育成 ～おもしろさや楽しさに気付き、試行錯誤できる遊びを通して～

特別研修員 幼児教育 本間正章（幼稚園教諭）



手立て1

おもしろさや楽しさに気付き、試行錯誤できる場の工夫

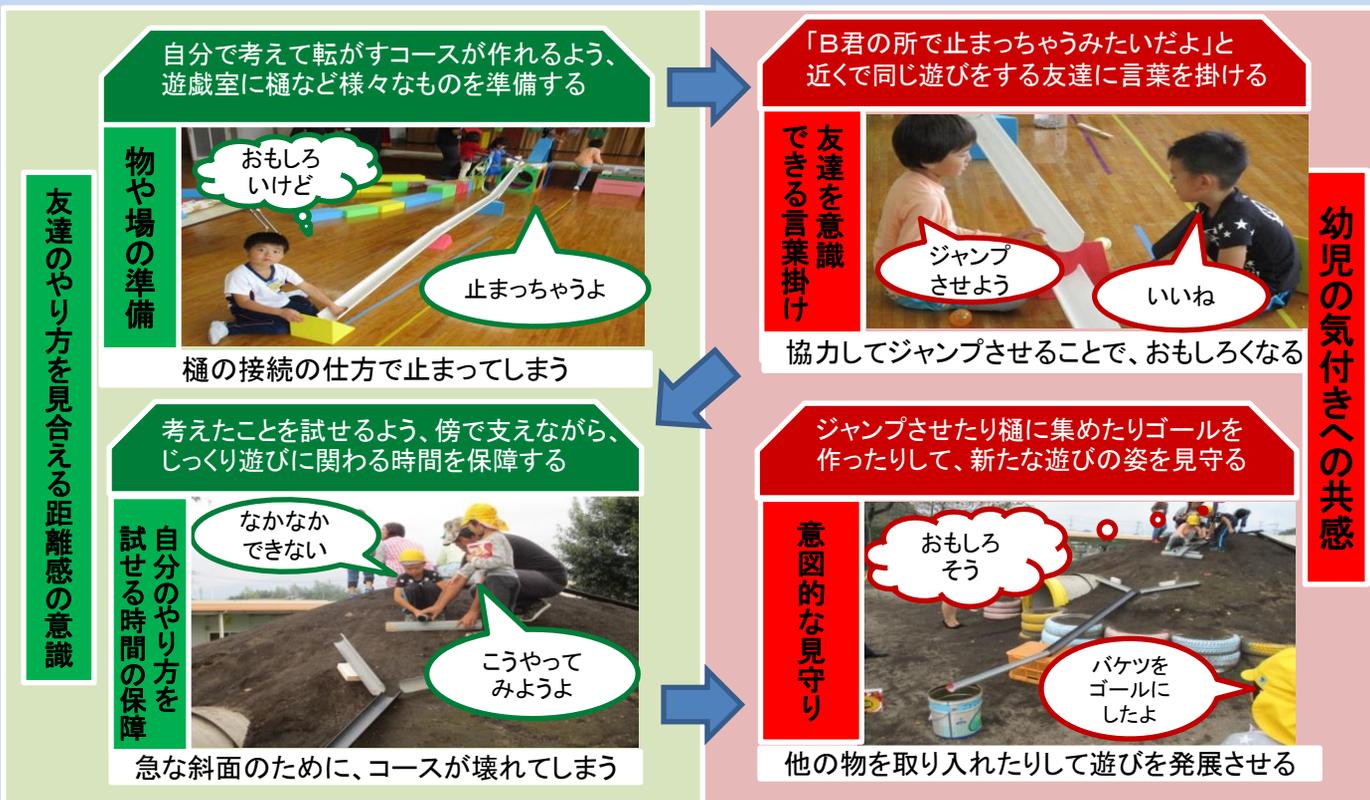
- 友達のやり方を見合える距離感の意識
- 形や重さ、長さの違ういろいろな物の準備
- 自分のやり方を試せる時間の保障

手立て2

次の遊びに向かって、イメージを広げる教師の適切な関わり

- 幼児の気付きへの共感
- 友達を意識できる言葉掛け
- 意図的な見守り

試行錯誤できる遊び



自分で考えたやり方を繰り返し試す
おもしろさに気付き、好奇心を持って遊ぶ

成果

・ 幼児の発想を支える場や物の工夫、気付きへの共感、意図的な見守りなど、教師が適切な援助をしたことで、思い切り試行錯誤でき、おもしろさや楽しさに気付き、好奇心を持つことができた。

課題

・ 4歳児の遊びを支えるには、一人一人の幼児の発達を多面的に捉え、遊びの中で状況をしっかり見取ることが大切だったので、今後も丁寧に見取って援助したい。